

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース



2018年1月21日 第296号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール wjcpken@naxnet.or.jp

メガソーラー問題はヤマ場
異例の条件生かし頑張ろう

先週に引き続き12月定例会一般質問について報告申し上げます。今週は一有功・直川地区のメガソーラー計画についてです。この問題の質問はちょうど1年前の12月議会でした。巨大な計画であり住民に充分知らされていないことを告発しました。住民運動も起っており、県は昨年10月27日記者発表し、林地開発許可申請の提出に当たって、県は昨年の10月27日記者発表し、林地開発許可申請の提出に当たって、県は昨年の10月27日記者発表し、林地開発許可申請の提出に当たって、



有田川町議選（1月23日告示、28日投票）で、ますたに憲、堀江まち子両町議の必勝をめざします。お知り合いがある方はご支援をお願いして下さい。（写真は8日開かれた女性のつどい。奥村も参加＝立っている白い服）

有田川町議選よろしく



県党の新春のつどい
日本共産党和歌山県委員会は1月11日、「新春のつどい」を和歌山市で開きました。社民党、自由党、市民連合など広範な人々が参加されました。大門みきし党参院議員は、市民と野党の本気の共闘の発展を訴えました。

首相と「読売」幹部の会食はナンセンス
要注意です、「百害あって一利なし」

昨年大晦日の「日刊赤旗」1・3面で「安倍首相とメディア幹部の会食」を特集。この5年間で安倍首相とメディア幹部との会食回数は、『読売』が系列テレビ局と合わせて59回、「産経」は同じく25回、「日経」も16回。2017年の会食一覧表も掲載。その記事を1月8日のTBSラジオ番組が取り上げたことを12日付「赤旗」が報道。ジャーナリスト青木理氏が1年間の会食一覧表を「すごいな」と指摘。「記者が首相と飯を食うことを一概にダメとは言わないが、経営者の立場の人が、首相、最高権力者と会食することは、百害あって一利なし。何かよからぬ相談をしているかもしれないし、社長が（首相と）飯を食っていると（現場が）いろいろ考えちゃう。害悪の方が圧倒的に多い」と批判。欧米ではありえないが日本でこうなるのは、青木氏は「メディアと権力との関係がどうあるべきかという意識が薄い」と警鐘。

昨年5月3日付「読売」で改憲インタビューを1面で報じ野党の質問に首相は「読売を熟読して」と会食する時間があったも国会を無視する答弁。加計疑惑で前川喜平前文科事務次官が内部文書で証言すると、犯罪でもないのに前川氏の人身攻撃を「読売」が掲載し、週刊誌から「読売は安倍官邸の御用新聞」とまで書かれ社会部長名で釈明や抗議・不買運動に大わらわでした。（編集室）

のり子の週刊日誌（主なもの）

- 1月19日 知事と懇談、国民救援会新春のつどい
- 20日 地域訪問
- 21日 民商新年会
- 22日 河西事務所無料生活相談、団体まわり、福祉環境委員会
- 23日 会議、環境を考える会
- 24日 地域訪問
- 25日 市駅前事務所無料生活相談、国会議、メガソーラー対策会議

参詣道で署名活動

1月7日、「いずみ山系の巨大太陽発電を考える会」が今年になって初めての署名行動に取り組みました。府中・直川の計画地（事業者TKMデベロップメント）の中には、墓の谷山行者寺の参詣道が含まれており毎月7日には多くの受験合格祈願の方が訪れています。千手川沿いの大関橋の駐車場には、貴重な森林や自然資源を守ろう！大規模太陽光発電事業絶対反対「直川地区連合自治会・直川地区太陽光発電対策委員会」と書かれた看板が設置されています。その近辺で1時間の経過掲載ピラを見せながら訴えると「えーっ、それはあかんわ」「木を切れば土砂崩れが起きる。自然を残してほしい」「聞いていたけど署名はしていなかった」等と次々に署名に応じてくれ74筆集まりました

メガソーラー反対署名が次々と！



寒空のもと相次ぐ署名に励まされました

事業者が県に提出した林地開発の許可申請は隣接自治会等の同意書が不備のため返却され、再度の提出期限は1月24日です。現在隣接自治会や有功、紀伊両地区連合自治会も計画反対の看板を設置しています。

和歌山市は12月議会の私の質問で「地元の同意がなければ申請を受け付けない」と答弁していますが、事業者は諦めてはけません。予断を許せぬ状況ですが、現在、個人署名数は8627筆（目標1万筆）、団体署名は70団体となっております。反対の声は広がっています。引き続き今年も皆さんと一緒に頑張りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

党市議会議員
南畑さち代

